

はまだ

HAMADA SHIGIKAI DAYORI

市議会 だより

2007年(平成19年)11月1日発行

浜田市議会だより Vol. 8

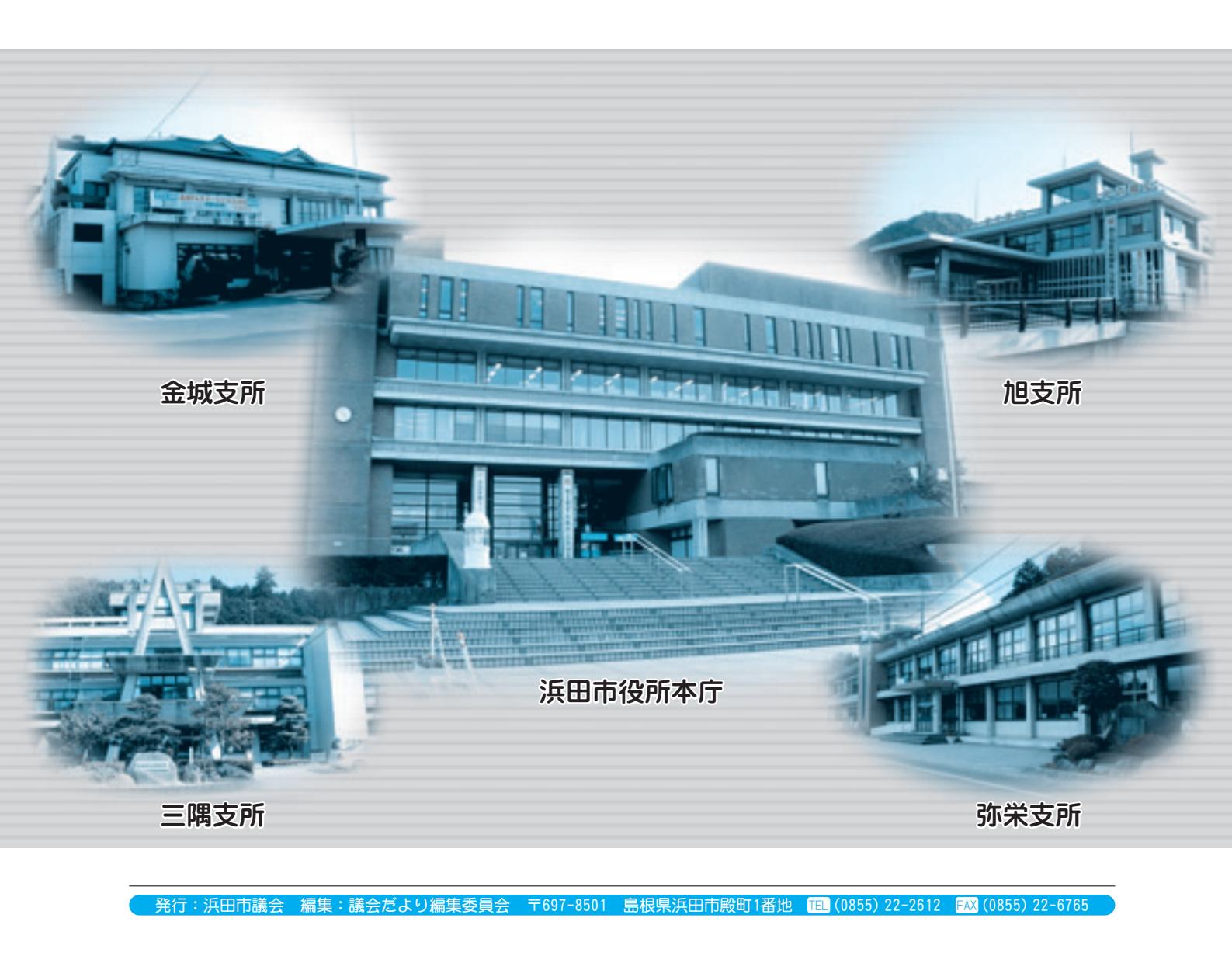
主な 内 容 頁

定例市議会のあらまし ···· 2

委員会視察報告 ····· 3 ~ 4

一般質問 ······· 4 ~ 7

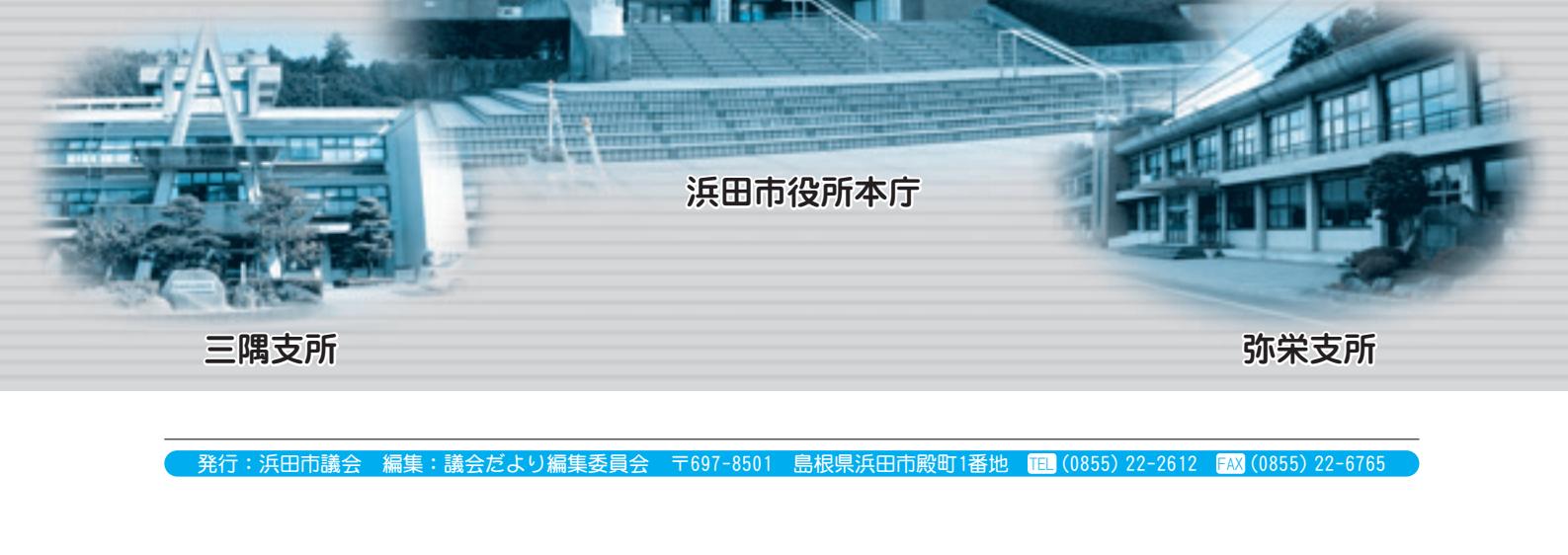
議決結果一覧・あとがき · 7 ~ 8



金城支所

旭支所

浜田市役所本庁



三隅支所

弥栄支所

〔議長なんでもメール〕

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽に寄せください。

必ず議長自ら目を通して回答させていただきます。(住所・氏名を明記の上送信ください)

E-mailアドレス : chairman@city.hamada.shimane.jp

平成19年
9月

定例市議会の あらまし

平成19年9月浜田市議会定例会は8月31日に招集され、会期を9月21日までの23日間として開催しました。今議会に市長から提出された案件は、追加提案を含め、決算認定15件、条例関係6件、市道道路線關係2件、財産処分の議決事項の変更1件、工事請負契約の締結1件、補正予算8件、人事案件2件、報告10件の合計45件です。また、議会側からは、条例1件、意見書2件を提出しました。これらの議案の内、条例関係3件と人事案件2件については、委員会付託を省略し原案のとおり可決しました。決算認定と報告を除くそれ以外の議案は、所管の常任委員会に付託し、慎重に審査を行い、その結果、全ての議案を原案のとおり可決しました。なお、決算認定(平成18年度)議案については、12名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、継続審査として閉会中に審査をすることになりました。

▼ 平成19年度、浜田市一般会計補正予算(第4号)
補正予算は、国県補助事業で追加や変更を要する事業及び6月の補正予算編成後に新たに生じた急を要する費用、事業費の確定等に伴い不用額が見込まれる事業について調整を行うもので、歳入歳出それぞれ6億4944万9千円を増額し、補正後の予算総額を350億8496万1千円とするものです。

補正の主なものは、障害者自立支援法の施行に伴う激変緩和等経過措置に係る経費、銀行等引受け繰上償還に係る経費及び平成19年7月及び8月に発生した災害の復旧経費などであります。また、しまねお魚センター用地売払収入の減額も補正予算に含まれています。

▼ 財産処分の議決事項の変更について
平成14年9月に議決を経た、しまねお魚センター用地に係る財産の処分について、処分予定価格を7569万5千円減額する変更議決を求めるものです。
減額の理由として、売却面積か

○決算認定の審査を行う「決算特別委員会の委員」は次のとおりです。

委員長	平石 誠
副委員長	角田勝幸
委員	道下文男、三浦保法 新田勝巳、三浦美穂 山崎 晃、渋谷幹雄 西村 健、下隅義征 濱松三男、美浦美樹

〔予算関係〕
本会議で審議された
主な議案の内容

しまねお魚センター用地の売払収入が減額となることについては、質疑が集中しました。「この事例を踏まえ第三セクターに対する浜田市の考え方を明確に打ち出すべきではないか。」などの指摘に、執務部から「一定の基準を定めるなどの対応に努める。」との答弁がなされました。

▼ 浜田市教育委員会委員の任命について
任期満了に伴う同委員の任命について、次のとおり同意しました。
○野藤 薫さん(殿町)＝再任

▼ 浜田市公平委員会委員の選任について
任期満了に伴う同委員の選任について、次のとおり同意しました。
○竹内 熟さん(熱田町)＝新

○「浜田市市政に係る重要な事項の議決等に関する条例」を可決しました。

この条例は、議会運営委員会が提出したもので、次の4項目について、今後は議会の議決を必要とするものとして追加しました。

1 浜田市の行政分野全般に係る政策の基本計画の策定、変更又は廃止に関すること。

2 憲章の制定、変更又は廃止に関すること。

3 都市宣言の制定、変更又は廃止に関すること。

4 姉妹都市又は友好都市の提携に関すること。

ら277・75平方メートルの除外と、土地代金の年利率の見直しによる利息額の減であります。
審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

この条例は、議会運営委員会が提出したもので、次の4項目について、今後は議会の議決を必要とするものとして追加しました。

1 浜田市の行政分野全般に係る政策の基本計画の策定、変更又は廃止に関すること。

2 憲章の制定、変更又は廃止に関すること。

3 都市宣言の制定、変更又は廃止に関すること。

4 姉妹都市又は友好都市の提携に関すること。

委員会視察報告

総務文教委員会

7月11日から3日間、行政視察を行いました。概要は次のとおりです。

【北海道恵庭市】

視察に先立ち、中島興世市長と面談し、マニフェスト「子どものしあわせが広がるまち」を掲げ市政を担つてこられた経験談や市政、特に子ども政策に対する熱い思いを語つていただきました。後世のまちづくりを見据え、子どもへの投資を厭わない政策など有意義な話をお聞きしました。

① 子ども読書プラン

恵庭市では、平成12年に全国に先駆けブックスタート事業に取り組まれ、また、平成16年度からは市費で市内全小学校に専任の司書を配置し、子どもの読書活動を推進されています。このプランは、ブックスタートで育つた赤ちゃんと人のコミュニケーションを上手にできる子どもたちを育てていこうとするプランで、徐々に成果が現れてきているとのことでした。

【北海道夕張郡栗山町】

栗山町では、町民主体のまちづくりを目指し、町内関係者なら誰でも参加可能で、開かれた議論を

視察参加議員
(7名)

西田清久
道下文男
平石 誠
三浦一雄
川神裕司
中村建二
牛尾 昭



恵庭市 中島興世市長を囲んで

栗山町議会は、時代に対応した議会改革・議会活性化策に努め、真に町民に開かれた議会づくりに取り組まれ、全国に先駆け議会基本条例を制定されました。

浜田市議会においても栗山町を参考に活動してまいります。

② 議会基本条例

する場として「わがまち栗山会議」が設置され、2年間の協議の末「栗山のまちづくりへ4つの提言」を作り上げ、本年6月に町長へ提案されたところであります。

産業経済委員会

8月20日から2日間、行政視察を行いました。概要は次のとおりです。

【山口県下関市】

① 地産地消の取り組みについて下関市においては今年2月から地産地消に関する市民の意識調査を実施され、普及の現状と市民の行政に対するニーズを把握するとともに、課題の抽出や効果的な推進方法について検討され、今後の事業推進の基礎資料を作成された。

調査対象は市内で農水産物を取り扱う小売店など2030店に配布し、403店から回収。その際「たべりくねサポーターズ」を募集し、下関産の農水産物を扱っている店舗が一目でわかる仕組みづくりを構築され、のぼり・ポスターなどの資材で、地産地消をPRされている。今後マップ化をして、「どこにいつたら地元の産物が買えるのか」市民にアピールする計画も持つておられた。

地産地消を下関市においては、「何よりもまず市民に理解していただき」とする観点で、無理なく出来ることから取り組んでおられるよう感じた。

視察参加議員
(9名)

西田 平
山崎 晃
佐々木豊治
江角敏和
岡田治夫
牛尾博美
下隅義征
小川泰昭
高見庄平



下関市役所

③ その他、特牛漁港や長門市の仙崎市場、萩市のシーマートの視察を行いました。

市民や観光客に親しまれてきた。平成13年4月に新築移転後、民間者の経営能力を最大限活用するため、漁港内の市場と一体的・効率的な運営がおこなわれるべき行政財産（漁港施設、用地）を長期間、民間業者に貸し付けることが可能となるよう規制緩和を求め、平成16年2月に特区制度が創設された。

委員会視察報告

島根あさひ社会復帰促進センター調査特別委員会

8月10日に行政視察を行いました。概要は次のとおりです。

【山口県美祢市】

美祢市では、矯正施設を地元の活性化に繋げるため行政側の働きかけとして、商工観光課内に矯正施設活性化推進室を設け、地元企業とSPCの仲介役を担い、矯正施設の運営における食材の30～40%、ガス100%を地元業者で納入すること。

また、施設建設に当たっては、資材・業者の90%を山口県内で確保しました。食材納入については、更に受注率をアップするよう今後も交渉を継続していくとのことでした。

【美祢社会復帰促進センター】

本年4月開所以来、見学者が6月末までで、約3千人あつたとのことでした。各施設を、法務省の職員から説明を受けながら見学し、施設面においては、周辺環境に威圧感を感じさせることの無い建築物であり、人的労力を最大限省力化できるよう配慮がなされていながらセキユリティーが万全で、安全性が確保されていました。

【島根あさひ社会復帰促進センター】

現場事務所にて、工事に携わる業者への注意事項を掲げたビデオを視聴し、工事中の様子を現場周辺から

視察しました。紹介ビデオでは、当委員会からSPCに対しての指摘事項を工事関係者へ周知徹底する内容も含まれており、地元へ迷惑・心配をかけまいとする配慮が見られました。また、工事中の環境面への配慮や、安全確保も徹底して実施されており、無事故で来年6月の竣工を迎える、市民の皆様と開所を祝いたいと思います。



美祢市役所

一般質問

質問

西村 健議員
市民の負担軽減と地元産業の支援について

質問

木村 正行議員
第三セクターの破綻処理について

質問

昨年度から始めた石州瓦利用促進事業は、市民の負担軽減と地元産業の支援につながる事業と思うが、利用状況はどうか。

答弁

補助件数、補助額は、昨年度が29件、176万円で当初見込みの6割程度、今年度が24件、162万円で当初見込み90件を下回っている。

個人消費の低迷による住宅着工件数の伸び悩みや瓦以外の屋根材、他産地瓦の利用増が原因と思われる。

質問

現在、補助対象は、新築専用住宅となつてゐるが、増築や屋根替え等の改修にまで広げる考えはないか。

答弁

今年に入り瓦産業を取りまく環境は、いつそう厳しい状況が続いており、改修に対する補助も検討していく。

① 補償契約など一切ない。
② 部分的には自治区での財政措置も含むものと考える。
③ 三セクの形態も様々で資金投入にあたつてのルール化は難しいが、検討したい。
④ 第三者機関の設置につい

三セクの経営破綻に多大な公的資金がつぎ込まれ、市財政悪化の要因となつてている。
① 共同出資者に債務保証や損失補償契約はしていないか。
② 合併5年以内に「自治区の責任で措置する」とは財政面も含めてということか。
③ 三セク処理に地域振興基金を充てるには不公平感も生じ、無理があるのでないか。公的資金投入にはルール化が必要ではないか。
④ 監視の届きにくい三セクの経営判断には第三者機関の設置が必要ではないか。

その他の質問
金城自治区における閉校校舎と福祉施設の利用について

10月から美川地区、三階長見地区、弥栄町の三地区でデマンドタクシーとして試行運転が実施されますが、残された金城、旭地区は、今後どのような計画の基に進められるのかお伺い致します。

答弁

今年9月に地域交通についてのアンケート調査を実施、10月に回収し、11月に回答を分析します。12月に金城地区、旭地区に合った交通システムを各々検討します。

そして、その検討した新しいシステムについて、住民の皆さんのご意見を伺うために、2月に再度アンケートを実施します。その結果により平成20年度に試行運転を実施し、平成21年度に本格運行する計画です。

例制定も市民の声を聞き検討していきたい。

石見銀山と觀光振興策について

① 現在、県西部地域の市町村は単独では地域再生が十分できない状況にきています。こ^はは石見文化圏が一体となり、地域資源をブランド化する地域再生戦略が必要ではないか所を見を聞きたい。

答弁

② 石見地域共通の文化資源である石見神楽をブランド化し、浜田市のみならず西部地域の再生戦略とするのが有効。特に神楽振興条例を制定すべきではないか所見を聞きたい。

その他の質問
石見銀山と觀光振興策について

① 今後、地域が有する自然や歴史、文化等の地域資源を「いわみブランド」としてスケールメリットを活かし取り組むことが重要である。

② 神楽振興は今後も定住化に貢献するのであり、振興条例制定も市民の声を聞き検討していきたい。

その他の質問
災害時における危機管理体制について

原田義則議員

新交通システムについて

川神裕司議員

地域資源のブランド化について

新田勝己議員

中山間地域の活性化について

三浦一雄議員

合併後2年間の評価について

平石誠議員

読書環境の整備について

質問

10月から美川地区、三階長見地区、弥栄町の三地区でデマンドタクシーとして試行運転が実施されますが、残された金城、旭地区は、今後どのようない計画の基に進められるのかお伺い致します。

質問

① 現在、県西部地域の市町村は単独では地域再生が十分できない状況にきています。こ^はは石見文化圏が一体となり、地域資源をブランド化する地域再生戦略が必要ではないか所見を聞きたい。

質問

① 新農政で農村集落の将来像について問う。
② 林業が環境問題等、見直されている。取組みを問う。
③ 国交、総務、農水3省が連携して、過疎集落維持の調査対象に弥栄自治区が指定された。市の考え方を問う。

質問

① 新浜田市が誕生して2年を経過したが、自治区制度を含め、どのように総括・評価をされているか、市長の見解を伺う。
② 合併以前の合併協議会のなかで、旧町村委員から多く意見として『まちが寂れる』との声に対し、解消策として重点的に取り組んだ事項や成績は何か。地域住民に安心感を与えているか伺う。

質問

① 絵本の配布は大変喜ばれており、子育て支援の観点からも有意義と感じている。
② 学校間でばらつきがあり改善が必要。学校司書の全校配置は市単独事業では困難。
③ 平成23年度以降のシビックコア事業の中で設備。電算化も建替えに併せて実施。
④ 2t車で、各自治区のポイントを月1巡回。電算化は図書館建替えに併せ実施。

その他の質問
議で議論を重ね、具現化に努めたが、さらに政策企画会議で議論を重ね、具現化に努めた。

議会を傍聴しませんか

はまだ市議会だより

平成19年11月1日発行

佐々木 豊 治議員
ささき とよ はるじぎいん

児童扶養手当について

- ① 浜田市における母子家庭の生活状況について問う。
- ② 当市において、正社員転換時の奨励金制度等の「母子家庭自立支援給付金事業」に取り組む考えは無いか問う。
- ③ 来年4月からの制度改正について問う。

- 答弁
- ① 母子家庭の平均所得が低く、養育費の確保も十分とは言えない中で、暮らし向きは非常に厳しくなっていると認識している。
- ② 母の就労をより促進するため、取り組みを検討する。
- ③ 来年4月から、手当額の減額が予定されており、要件によつては減額の対象となる場合もある。具体的には、国が今年末に決める予定となつてゐる。

- ① 財政状況と予算について
- ② スポーツ施設について
- ③ 他の質問
- ④ 路事業評価システムを検討する。下水道整備は今後手法の経済比較を行い推進する。

大谷 弘幸議員
おおたに ひろゆきぎいん

まちづくり推進について

- 質問
- ① 住民参画の推進を問う。
- ② 機構改革と職員の人事交流の考え方を問う。
- ③ 生活環境の整備方針と計画について問う。

- 答弁
- ① 地域協議会は自治区間で相違はあるが行政提出の審議事項や報告が多く、情報の共用化は図れても協議会からの建議に至つていらない。今後情報提供と女性・若者委員参画の方向で取り組む。「まちづくり推進委員会」は組織化に向け検討・協議の状況にある。
- ② 業務量・分析の調査委託を実施し効率的な機構改革に取り組む。人事交流は必要で今後目標値を定め取り組む。
- ③ 住宅施策は地域の特性やバランスに配慮した計画で推進に努める。道路整備は「道路事業評価システム」を検討する。

- ① 公益通報者保護法施行に伴う市の対応について
- ② 江角敏和議員
- えすみ とし かずじぎいん

公益通報者保護法施行に伴う市の対応について

- 質問
- ① 公益通報者保護法施行に対する浜田市の認識を伺う。
- ② 条例及び要綱・規程の制定、そして市民・労働者への周知方について伺う。

- 答弁
- ① この法律は、平成18年4月に施行され、労働者が事業所内部の法令違反行為を権限ある行政機関等へ公益通報を行つたことを理由に解雇や不利益な取扱いを禁止し、また公益通報を受けた事業所や行政機関のとるべき措置を定めた重要な制度である。
- ② 行政監理課において平成20年度施行を目指し、相談窓口の設置や通報に関する内部規程の制定を検討している。周知はホームページ等で行う。

- ① 浜田市教育振興計画「はまだっ子プラン」に基づいた教育を進めて行く。
- ② 他の質問
- ③ 浜田市教育振興計画「はまだっ子プラン」に基づいた教育を進めて行く。

- 質問
- 浜田市には教育環境の整備が遅れている学校が多いので、財政部は各小中学校の修繕や備品の要望に応え、積極的に予算をつけるべきではないか。
- 答弁
- 財政側も現地を確認しながら、今後前向きに対応したい。

- ① 他の質問
- ② 道下文男議員
- みちしたふみおじぎいん

産業振興と雇用創出について

- 質問
- ① 「矯正施設」の建設工事が始まつたが、単価がすごく安く、地元業者に受注が皆無である。市の対応を問う。
- ② 「石見銀山遺跡」の世界遺産登録が決まり、随分にぎわつていて、「なつかしの国・石見」を踏まえ、御便殿を神楽殿に創設するとか、今こそ観光集客に全力を注ぐべきだと考えるが、市の認識を問う。

- 質問
- ① 價格交渉について、市が深く係わることはできないが、地元への経済効果を最優先に考え、国や落札業者に受注機会の拡大を可能な限り図る。
- ② 銀山の観光客取り入れのためにも石見神楽は有効な手段であり、神楽体験も織り交ぜ、いつでも鑑賞ができる仕組みづくりを進めている。

平成19年11月1日発行

はまだ市議会だより

(2) 那賀会館について

- ① 浜田子ども安全センターと青少年サポート浜田について
- て

児童生徒の不登校について

その他の質問

として示すべきではないか

石見銀山世界遺産登録による活性化策は

西田清久議員

橋梁の安全について

三浦保法議員

合併後の検証と行政改革について

湯浅まさる勝議員

- ① 市としての捉え方と新たな動きについて伺う。
- ② 市の活性化（経済効果）に向けての戦略づくりは。
- ③ 小規模でも石見の旬（本物）を盛り込んだストーライフ指向に対する独自のツアーや積極的にPRしては。

質問
答弁

- ① 石見を売り出す千載一遇のチャンス。石見各市、観光協会、商工会議所、商工会等を会員とする石見観光振興協議会で協議検討を重ねている。
- ② 「なつかしの国石見」をキヤッチフレーズとし、石見神楽、石見焼など石見ブランドを積極的にPRしていく。
- ③ 石見三市の会議で紹介、提案し、検討していきたい。
- その他の質問

- ① 当市が管理する橋梁は計1052橋で、パトロールにより橋面の異常にについて点検を行っている。しかし、構造全体の点検は行っていない。
- 全国的にも定期点検を実施している市町村は全体の一割にしか過ぎない。
- ② 緊急輸送路線や1・2級指定路線を中心に、年次計画を立て、橋梁の点検データを基に、平成25年までに、計画を策定する予定である。

- ① アメリカのミネソタ州で橋梁の崩壊事故が起り多くの死傷者が出た。国内にも古い橋梁が多くあるよう聞くが浜田市の現状を問う。
- ② 今年度から橋梁長寿命修繕計画策定事業が予算化されているが、事業の実施状況について問う。

質問
答弁

- ① 合併後三年目を迎えるが、合併の目的に沿って検証し、その結果を市民に明らかにする責務があるのでないか。
- ② 我々（市長、議員）の任期中に一度検証をし、次に引継ぐべきと思うが再度問う。

質問
答弁

- ① 市民に情報開示しなければと思うが、今検証する所に行つてない。
- ② 検証については当面10年となつており、今日は答える訳にゆかない。

質問
その他の質問

- ① 地域振興基金条例に不備はないか、また運用についてはいかない。
- ② 職員の人事交流の計画的な実施について

その他の質問

- ③ 自治区長を一般職とする等、特別職の在り方の見直しついて
- ④ 教育方針は、年度当初の本会議において、教育委員会として示すべきではないか

市長提出議案

議決結果一覧

議案番号	件名	議決結果等
条例議案	議案第87号 浜田市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
	議案第88号 浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
	議案第89号 浜田市立図書館条例の一部を改正する条例について	原案可決
	議案第90号 浜田市国民宿舎千疊苑条例の一部を改正する条例について	原案可決
	議案第91号 浜田市都市下水路条例の一部を改正する条例について	原案可決
	議案第92号 浜田市火災予防条例の一部を改正する条例について	原案可決
予算議案	議案第96号 平成19年度浜田市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
	議案第97号 平成19年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	議案第98号 平成19年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	議案第99号 平成19年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	議案第100号 平成19年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	議案第101号 平成19年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	議案第102号 平成19年度浜田市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
	議案第103号 平成19年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
一般事件議案	議案第93号 市道路線の廃止について	原案可決
	議案第94号 市道路線の認定について	原案可決
	議案第95号 財産の処分の議決事項の変更について（しまねお魚センター用地）	原案可決
	議案第104号 工事請負契約の締結について（ふるさと交流館（和紙の郷）建築主体工事）	原案可決

議案番号	件名	議決結果等
認定議案	認定第1号 平成18年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第2号 平成18年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第3号 平成18年度浜田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第4号 平成18年度浜田市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第5号 平成18年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第6号 平成18年度浜田市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第7号 平成18年度浜田市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第8号 平成18年度浜田市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第9号 平成18年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第10号 平成18年度浜田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第11号 平成18年度浜田市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第12号 平成18年度浜田市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第13号 平成18年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査
	認定第14号 平成18年度浜田市水道事業会計決算認定について	継続審査
	認定第15号 平成18年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について	継続審査
同意議案	同意第3号 浜田市教育委員会委員の任命について	同意
	同意第4号 浜田市公平委員会委員の選任について	同意
報告	報告第10号 財団法人金城町開発公社の経営状況の報告について	報告
	報告第11号 株式会社リフレッシュかなぎの経営状況の報告について	報告
	報告第12号 株式会社かなぎの経営状況の報告について	報告
	報告第13号 財団法人ふるさと弥栄振興公社の経営状況の報告について	報告
	報告第14号 有限公社ゆうひパーク三隅の経営状況の報告について	報告
	報告第15号 浜田市土地開発公社の経営状況の報告について	報告
	報告第16号 財団法人浜田市都市環境整備公社の経営状況の報告について	報告
	報告第17号 財団法人浜田市教育文化振興事業団の経営状況の報告について	報告
	報告第18号 財団法人三隅町教育文化振興財団の経営状況の報告について	報告
	報告第19号 専決処分の報告について（物損事故の損害賠償の額の決定）	報告

請願

議案番号	件名	議決結果等
請願 請願第9号	WTO及び日豪EPA／FTA交渉に対する請願について	採択

議會提出議案

議案番号	件名	議決結果等
条例議案 発議第6号	浜田市市政に係る重要な事項の議決等に関する条例の制定について	原案可決

議會追加提出議案

議案番号	件名	議決結果等	
意見 書案	発議第7号 発議第8号	有害鳥獣対策の抜本強化を求める意見書について WTO及び日豪EPA／FTA交渉に対する意見書について	原案可決 原案可決
委員長申し出 (決算特別委員長)	委員会の閉会中の継続審査について	決定	

議會提出案件

議案番号	件名	議決結果等
	議員派遣について	原案可決

議会だより編集委員会
委員長 山崎三浦
副委員長 島本新田
委員 勝己謙利
委員 平石三浦
委員 文男佐々木豊治
委員 道下誠

「なつかしの国 石見」。これは石見地域の活性化と觀光の振興をめざし、石見を全国発信するために石見觀光振興協議会より示されたヤツチフレーズです。石見の地に初めて訪れた人も「なつかしい」と感じる風景があり、あたたかい人の温もりがあります。これを期に石見地域を全市民で誇りに思い、全国の多くの人に石見の魅力を知っていただきたいと思います。

浜田市議会の議会改革の一環として、この議会をより編集委員会も次回から、更に充実した特別委員会となります。

今後、より一層市民の皆様に愛される「浜田市議会」だよ

り」を発行してまいります。